



## 経験を豊かにする「人」「もの」の存在

副園長 大川 美紀子

この季節、園庭に出ると、葉っぱや木の実などの「秋の落とし物」にたくさん出会います。今秋、園庭西側にあるクヌギの木は例年になく多くの実を落としました。子どもたちは、大きさや感触が手に馴染むからか、あのコロコロとした形が魅力的だからか、みんなドングリが大好きです。園では9月下旬～10月上旬にかけて、どの学年もドングリ拾いを存分に楽しみました。

この時期、朝いちばんでドングリを拾いに行くことが日課となったのは3歳児ひよこ組です。楽しかった経験が「また今日もドングリ拾いをしたい」という思いにつながり、意欲をもって遊び出す姿が生まれます。朝の身支度が終わると、先生が作ってくれた自分だけのバック（ペットボトルを切って持ち手を付けた物です）を持ち、「行ってきまーす」と手を振り、嬉しそうにどんぐり山までお出掛けです。ペットボトルは透明なので、拾ったドングリが溜まっていく様子がよく分かります。満タンになったバックを持って満面の笑みを浮かべるひよこ組さんを見てみると、こちらも自然と笑顔になります。

ひよこ組が去った後にも、よく見るとまだ落ちているドングリがあります。後から園庭に出てきた4歳児うさぎ組や5歳児きりん組は、生垣の中や葉っぱの下などを隈なく探します。見付けたら得意気に友達に報告し、「どこにあったの?」「こっちだよ」といったやり取りから遊びが続いていきます。それぞれに拾ったドングリを手の平に載せて見せ合い、大きさや形を比べたり、一緒に数を数えたりして、遊びは更に広がります。

拾ったドングリはままごとのごちそうになったり、積み木や斜面版を使って作ったコースに転がしたり、工作の材料になったりと、様々な遊びで大活躍です。ある日4歳児うさぎ組に行くと、一人の子が「先生、あのね、うさぎ組で拾ったドングリ100個よりもたくさんあるんだよ!」と嬉しそうに教えてくれました。聞いた話では、ドングリ転がしのコースを作ったお友達が「いーち、にーい、さーん」と数えながら転がす遊びをしていて、全部転がしたところ「100個よりもたくさん」あったとのこと。友達がしている遊びに関心を寄せ、「100個よりもたくさん」あることを知り、私に報告してくれたのでした。

ドングリという“もの”自体の魅力もさることながら、そこに加わる別の“もの”（ここではペットボトルの手作りバック、積み木など）の存在が、遊びの楽しさを膨らませます。更に、友達や先生などの“人”の存在も重要です。お揃いのバックを作ってくれた先生、一緒にドングリを集める友達、ドングリを見比べて気付いたことを伝え合う友達、ドングリを使って転がしたり数えたりして遊ぶ友達などの存在があって、子どもたちの経験は膨らみ、豊かになっていきます。子どもたちの遊びを観ていると、そこにどのような“もの”があるのか、そこに関わる“人”からどんな影響を受けているのかにより、遊びの質が変わり、遊びを通して学ぶことも変わってくることを実感します。

本園では昨年度・今年度の2年間、体を動かす遊びに視点を当て、人やものとの関わりを通して子どもたちの経験がより豊かになることを願い、研究を進めてきております。今月29日には、区内、都内の関係者の皆様をお招きして、昌平小学校と合同で研究発表会を行います。研究の成果を多くの方と共有し、本園の教育の更なる充実を図り、子どもたちの確かな成長につなげていけるよう、引き続き教職員一同で研鑽を積んでいきたいと思っております。

ひよこ組のバック。  
たくさん拾いました!



うさぎ組は積み木でドングリ転がし!  
折り返しコースを工夫して作りました。

きりん組がみんなで  
拾ったクヌギ。実はこの  
3倍近くあります!



# 今月のねらい

## 3歳児 ひよこ組

### 【ねらい】

- したい遊びにじっくり取り組んだり、同じ物や遊びに興味をもった友達と一緒に遊んだりすることを乐しみます。
- 保育者や学級の友達と一緒に、簡単な鬼遊びをしたり巧技台を使って遊んだりして、伸び伸びと体を動かすことを乐しみます。
- 落ち葉や木の実を使って遊んだり、秋の歌を歌ったりして、身近な自然に親しみます。

### 【長時間保育の重点】

- 秋の自然に触れ、遊びに使ってみたり、体を動かして遊んだりすることを乐しみます。

## 4歳児 うさぎ組

### 【ねらい】

- 戸外や広い小学校施設で、固定遊具で遊んだり鬼遊びやエンドレスリレーなどをしたりする中で、友達と思い切り体を動かすことを乐しみます。
- 自分の思いや考えを表したり、友達の話を聞いたりして、友達とやり取りする楽しさや大まかなイメージを共有して遊ぶ楽しさを味わいます。
- 園庭の植物の変化に興味をもち、果実が実っていることに気付いたり、落ちていた葉や実などの自然物を拾って遊びに使ったりして、秋の自然に親しみます。

### 【長時間保育の重点】

- 友達に自分の思いや考えを伝えながら、遊ぶ楽しさを味わいます。

## 5歳児 きりん組

### 【ねらい】

- 縄跳び、鬼遊びなど、体を動かす遊びをする中で、自分の目標に向けて取り組んだり、自分たちのチームが勝つためにはどのようにするとよいかを友達と一緒に考えて試したりして満足感を味わいます。
- 友達と考えを出し合い、目的やイメージを共有しながら一緒に遊ぶ楽しさを味わいます。
- 園庭の樹木や気温の変化に気付いて季節が移り変わっていくことを感じたり、自分たちが育てたお米やポップコーンを食べることで収穫の喜びを味わったりします。

### 【長時間保育の重点】

- 生活に見通しをもち、友達と一緒に遊びや生活を進める楽しさを味わいます。

## 今月の昌平タイム

(生活のめあて) 遊んだり使ったりする物を大切にしよう (今月の歌) きのこ

## 今月の安全指導

- (生活) 園内での安全な遊び方を思い出し、約束を守って生活します。
- (交通) 道路の安全な渡り方や歩行の仕方を再確認していきます。

## 今月の避難訓練

近隣のビルでの火災を想定し、「お・か・し・も」の約束を守って迅速に避難できるように訓練に取り組みます。

## 今月の食育指導

今月の指導内容は、「配膳を学ぼう」です。配膳の仕方を確認するとともに、バランスよく食事をする大切さを学びます。